

令和 2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
基本事業 04 感染症の予防・拡大防止
主管課： 保健センター
関係課： 学校教育課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。
------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

小児定期予防接種平均接種率（年間）（％）保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
86.10	105.80	96.20	96.20		90.00
向上指針	上がると良い	（状況）例年，転入者が多いことから，母数としている4月1日現在の接種対象人口を接種者数が上回るため100％を超える数値で推移していましたが，令和元年度は9.6ポイント減少し，96.2％となりました。 （原因）新型コロナウイルス感染症のまん延が危惧された2月から3月にかけて医療機関での接種を控える傾向があり，接種率が減少したものと考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

感染症年間流行状況（麻しん）（件）保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針	その他	（状況）麻しんの感染症発生がない状況が続いています。 （原因）全国的にも麻しん風しん予防接種の接種率向上を目指し，流行予防に努めています。守谷市においても個別通知や各健診及び教室での周知に加え，未接種者への接種勧奨などを行い接種率向上に努めています。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

集団感染件数（年間）（件）保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
17.00	31.00	33.00	18.00		18.00
向上指針	下がると良い	（状況）昨年度と比較し若干増加してます。インフルエンザ時期の集団感染による学級閉鎖の90％以上を小学校が占めていますが，2～4日程度で解消しています。 （原因）感染予防の意識が低いことや，発症前の感染児童と体力及び抵抗力のない未感染児童の学校での接触が主な原因と考えられます。児童生徒への適切な手洗いの習慣と学校保健委員会や学校保健だよりを積極的に活用した保護者への早期感染防止啓発活動を行うことで，成果向上に繋げたいと考えています。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度 決 算	H30年度 決 算	R01年度 決 算	R02年度 予 算	R03年度 見 込
事業費合計	16,392	16,552	19,212	21,917	21,917
人件費	1,054	919	3,590	0	0
トータルコスト	17,446	17,471	22,802	21,917	21,917

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

高齢者インフルエンザ予防接種について、65歳以上の定期接種対象者全員に個人通知による接種勧奨を行ったことで、接種率が大きく向上しました。 また、新型コロナウイルス感染症については、国及び県の動向や近隣地域を含む感染状況等を注視しながら感染拡大防止に努めていきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]